

毎年恒例

武雄市図書館の企画展示開催

毎年、年末に開催している武雄市図書館による企画展示。今年は、2015年に採択され年々機運が高まっている「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」を切り口にして、「ミライブラリー」と題し、SDGsと図書館、そしてこれからの私たちの生活をテーマに開催いたします。

SDGsとは、社会をよくしていくために2030年までに達成すべき具体的な17の目標のこと。それが達成できなかったミライでは、図書館はどんな図書館になっているのでしょうか？203X年の図書館で、あるかもしれないもうひとつのミライをのぞいてみませんか？

会場 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

会期 2022年12月17日(土)
～2023年1月15日(日)

観覧料 無料



TOPIC

こども図書館お仕事体験 参加者募集



こども図書館のお仕事って何だろう？

司書さんは、本を貸したり返したりするカウンターでのお仕事や、本を探すお手伝いをしたり、本を棚にもどしたりしています。

みんなも図書館のお仕事を体験してみませんか？

開催 12月18日(日) 10:00～11:30

対象 武雄市内小学1～3年生 **定員** 4名

参加費 無料 **募集開始** 12月5日(月)

受付場所 武雄市こども図書館 サービスカウンター

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

PICK UP

武雄市図書館
冬のイルミネーション開催

期間 2022年12月17日(土)
～2023年2月19日(日)



TOPIC

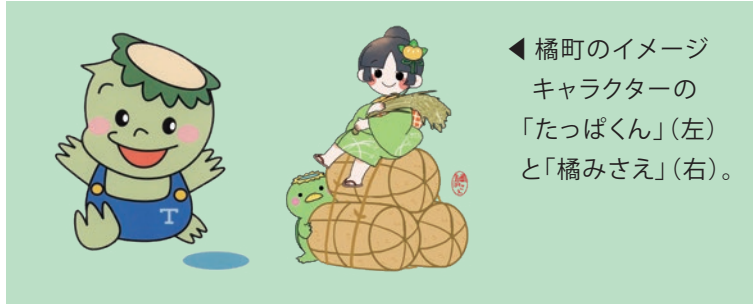
ご存じですか?

武雄の伝説・言い伝え

しおみがわ かつば
~潮見川の河童伝説~

武雄市内の各地域には、数多くの伝説・言い伝えが今に伝わっています。また、伝説や言い伝えに関係する史跡や地名も、市内のあちらこちらに残っています。

今回は武雄市内でも有名な、武雄市橋町の潮見川に伝わる河童伝説についてご紹介いたします。



◀ 橋町のイメージキャラクターの「たっばくん」(左)と「橋みさえ」(右)。

潮見川の河童は、鎌倉時代中期に、現在の橋町辺りにやって来た橋氏についてきたといわれています。潮見川に住むようになった河童たちは、人間に悪さをするようになりました。潮見川の近くにある潮見神社の神主は「この石に花が咲くまではおとなしくするように」と誓文(神にちかう文言)を河童たちと取り交わしました。それから河童たちは、おとなしくしているといいます。



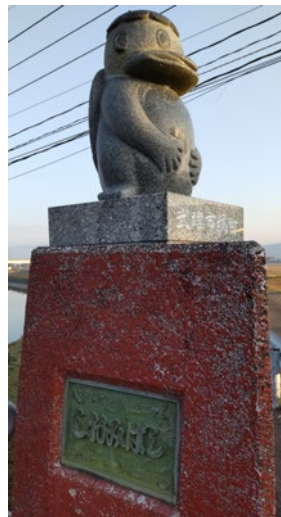
◀ 河童の誓文石
潮見神社近くの潮見川の堤防側には、「河童の誓文石」と伝わる大きな石が現在も残されています。

潮見川の河童はすもうが大好きで、子どもに勝負を挑むことがありました。

この地域の人々は、河童に悪さをされたくない時は、お仏壇(ぶつだん)に供えてあるご飯を食べました。そうすると、河童が逃げ出すか、逃げ出さなくてもすもうを取れば必ず勝つたといいます。



▲「河童の誓文石」近くにある、すもうを取る河童の石像



▲橋町にある潮見橋(らんかん)の欄干にたたずむ河童の石像



▲河童の頭がモチーフにされた永島排水樋管(はいすいひかん)

参考文献

- 武雄歴史研究会『新・ふるさとの歴史散歩 武雄』(武雄市文化会議、2007)
- 松尾善章『武雄の長崎街道今昔-付武雄の民話-』(武雄歴史研究会、1993)
- 橋町歴史研究会『郷土誌橋町史跡めぐり』(橋町歴史研究会、1991)

※災害時等、緊急時は休館いたします。

発行:武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館 9:00 ~ 21:00 年中無休 TEL.0954-20-0222 Fax.0954-20-0223
ホームページ: <https://takeo.city-library.jp/>

歴史資料館 9:00 ~ 17:00 月曜休館 TEL.0954-28-9105 Fax.0954-28-9205
ホームページ: <https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>

